

VENTURE

8
Aug. 2008

Link

自分と被災者のために
勝利を目指す

谷川浩司

ベンチャースピリッツ
ハニーズ社長

江尻義久

地方のハンディを
チャンスに変える

VLレポート

輸入大国ニッポン
原油、鉄鉱石、石炭…
資源高騰にどう立ち向かう?

熱戦

北京五輪商戦

経済波及効果は3450億円との予測
北京オリンピックで勝つのはどの企業だ

取引情報
ニュース・カプセル

150
件

特集 全国から社長が続々と視察する株式会社武蔵野

儲かる仕組みの誌上見学会

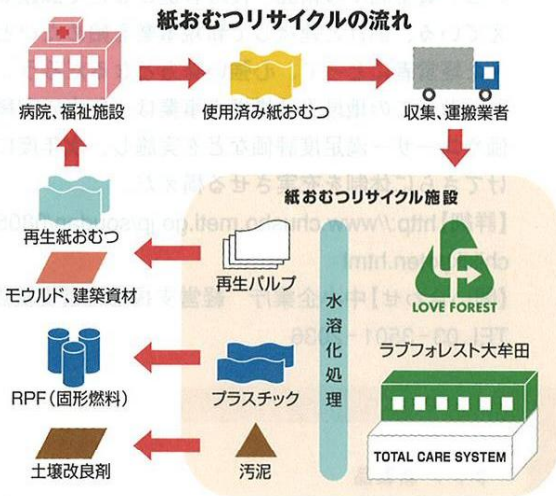
環境 ニュー ビジネス



世界唯一のリサイクルシステムで「紙おむつ to 紙おむつ」を実現へ

使用済みの紙おむつを処理して上質パルプに再生し、紙おむつの原料とする。トータルケア・システムが開発した国内初の紙おむつリサイクルシステムが完成目前だ。病院や介護施設、紙おむつメーカーの協力を得て、今秋には試作品が世に出る。

——トータルケア・システム(福岡市博多区)——



現在までに再生上質パルプはまだ紙おむつの原料となっていないが、これは回収される使用済み紙おむつの絶対量がまだ少なく、工場での紙おむつ生産をまかなえるだけの量を調達できないためだ。現時点では、再生上質パルプはすべて建築資材の材料になっている。今期中には再生上質パルプを原料とした紙おむつの先行試作品を生産し、提携病院での使用テストなどの検証を行なう予定だ。

病院や介護施設で使われた紙おむつは、従来、産業廃棄物として焼却処理されてきた。使い捨てであり、高齢化に伴う使用量の増加も懸念されている。この問題に対処すべく、世界でも例のない紙おむつリサイクルシステムの確立に取り組みのがトータルケア・システムだ。

同社が開発したシステムは、使用済み紙おむつを破断し、塩化カルシウムを溶解させた分離槽で攪拌すること、従来は困難とされたパルプと吸水性ポリマー、汚物などの分離に成功した。回収したパルプは洗浄、消毒と乾燥工程を経てシート状パルプ製品となる。これを粉砕し、綿状パルプに加工すると既存のおむつ生

産ラインにそのまま投入が可能だ。トイレットペーパーなどでは、再生パルプを材料に製造するとかえって高くつくともいわれるが、紙おむつの場合は異なる。産業廃棄物扱いなので、病院などが支払う処理費用である程度の採算が取れるため、メーカーに対してパージンパルプより安価で販売できるのだ。再生パルプを使用した製品は、当然安くなる。

また、分離された低質パルプや糞尿に由来する汚泥は土壌改良剤の材料に、プラスチック分は固形燃料になる。使用済み紙おむつのほぼすべての成分を、何らかの形でリサイクルすることができるわけだ。

同社がこの事業を本格的にスタートさせたのは2005年。

会社概要

トータルケア・システム

【所在地】〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-9-26

【創業】2001年11月

【TEL】092-433-1033

【資本金】1億1700万円

【売上高】1億9000万円(07年9月期)

【従業員】16人

【事業内容】使用済み紙おむつの水溶化処理、再生パルプ販売、パルプ、ビニールの再生利用方法の開発、紙おむつリサイクル事業の開業支援

【URL】<http://www.totalcare-system.co.jp>

このリサイクルシステムの確立は、使用済み紙おむつの安定確保が鍵となる。資源の再利用に対する病院や介護施設の理解と分別回収の徹底が欠かせない。同時に、紙おむつメーカーへの原料の安定供給に向け、処理工場を増やす必要がある。同社は九州各地の自治体や他社にノウハウを供与するコンサルティングビジネス形式をとり、再生上質パルプの生産拠点を増設していく構えだ。



トータルケア・システムの契約病院で使用されている、紙おむつ専用のリサイクル回収袋。